

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 岐阜県可児郡御嵩町教育委員会
2. 研究主題 : 調査研究Ⅱ
※事業計画書「3. 研究主題」と同じ
3. 研究タイトル : 小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化
※事業計画書「4. 研究タイトル」と同じ

4. 研究課題 : 「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題
①学力向上 ②体力向上 ③歯科保健活動 ④防災教育 ⑤保・小・中の連携
「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題
①小規模特認校の推進 ②放課後子ども教室の設置・運営 ③スポーツ少年団の参加率向上（スポーツ交流の充実）

※事業計画書「5. 研究課題」と同じ
※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

町教育委員会は、「21世紀御嵩町教育・夢プラン」の第三次改訂の中で、小規模特認校を推進する方針を出した。その背景には、上之郷地区の保護者・地域からの学校存続への要望に真摯に応えるとともに、少人数でのよさ（子ども達が家族的な温かい人間関係の中、自己有能感を味わいながら持てる力を遺憾無く発揮できるし、個に応じたきめ細やかな支援ができる。）を生かし、5つの研究課題（学校の教育課題）を追求する実践は、県内外で小規模校存続を検討している学校に参考となると考えられる。また、小規模校のデメリットを最小化するために、町教育委員会は児童数増加を願って小規模特認校制度を推進するとともに、児童の集団の多様性と社会性を涵養する機会を広げるために、放課後子ども教室の設置と魅力ある運営、スポーツ少年団の参加率向上（運動好きな子・社会性の涵養）に努める施策を講じ、研究を検証していきたい。

※要点をまとめ、簡潔に記載すること。

(2) 調査研究の実施状況（平成29年度）

学力向上

《研究課題「①学力向上」における本年度の具体的目標と経過について》

<具体的目標>

*算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着

・学力調査（CDT学力到達度診断）の「技能」「知識・理解」において全国平均正答率を下回る児童の割合（技能：13％・知識：15％）を半減する取組を行う。

*「書く力」の着実な定着

・学力調査（CDT学力到達度診断）の「書く能力」において全国平均正答率を下回る児童の割合（43％）を半減する取組を行う。

<「算数」：「技能」「知識・理解」の着実な定着>

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で前時の学びの見届けをするため、授業の初めに「振り返り学習（約5分）」を位置づけること。利用する学習プリントの作成と採点は、支援員（町費雇用臨時職員）2名が行うことを確認する。 ・週1回の朝の計算スキル（10分）には、支援員・教務主任・教頭が各学年に入り指導することを確認する。 ・CDTの「技能」「知識・理解」において全国平均正答率を下回る児童の実態把握を踏まえ、実践の累積について共通理解を図る。
5月	<p>ア. 実践交流会（提案：4年生）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、全体指導・個別指導でどのような手立てを行ったか資料提案する。（実践例）4年生単元名「角度」の実践より <p>標研式CDTの結果、「知識・理解」が全国平均正答率を下回ったA男への支援員の指導実践交流。</p>

6月	<u>ア. 実践交流会 (提案：5年生)</u> ・授業の中で、全体指導・個別指導でどのような手立てを行ったか資料提案する。 (実践例) 5年生単元名「わり算」より 標研式CDTの結果、「技能」が全国平均正答率を下回ったB子への支援員による授業での支援と土日の課題プリントによる指導実践交流。
7月	<u>ア. 実践交流会 (提案：2年生)</u> ・授業の中で、全体指導・個別指導でどのような手立てを行ったか資料提案する。 (実践例) 2年生単元名「長さ」と「100より大きい数」より 標研式CDTの結果、「知識・理解」が全国平均正答率において「考え方」が下回ったC子への支援員と担任の指導実践交流。
8月	<u>ウ. 第2回計算大会の取組</u> ・定着状況の把握及び願う姿に基づく今後の指導について共通理解を図る。 <u>エ. 全国学力学習状況調査の考察</u>
9月	<u>ア. 実践交流会 (提案：高学年)</u> ・授業の中で、全体指導・個別指導でどのような手立てを行ったか資料提案する。
10月	<u>ア. 実践交流会 (提案：中学年)</u> ・授業の中で、全体指導・個別指導でどのような手立てを行ったか資料提案する。 <u>イ. 1年生「足し算・引き算(繰り上がり・繰り下がりのある)名人」の取組</u> <u>2年生「九九名人」の取組</u> ・実態把握と願う姿に基づく個別指導のあり方について職員の共通理解を図る。
11月	<u>ア. 実践交流会 (提案：低学年)</u> ・授業の中で、全体指導・個別指導でどのような手立てを行ったか資料提案する。 <u>イ. 1年生「足し算・引き算(繰り上がり・繰り下がりのある)名人」の取組</u> <u>2年生「九九名人」の取組</u> <u>ウ. 第3回計算大会に向けての取組</u> ・実態把握と願う姿に基づく個別指導のあり方について職員の共通理解を図る。
12月	<u>ア. 実践交流会 (提案：高学年)</u> ・授業の中で、全体指導・個別指導でどのような手立てを行ったか資料提案する。 <u>イ. 1年生「足し算・引き算(繰り上がり・繰り下がりのある)名人」の取組</u> <u>2年生「九九名人」の取組</u> ・定着状況の把握及び願う姿に基づく今後の指導(冬休みの課題を含む)について共通理解を図る。 <u>ウ. 第3回計算大会の考察と第4回計算大会に向けての取組</u> ・定着状況の把握及び願う姿に基づく今後の指導(冬休みの課題を含む)について共通理解を図る。
1月	<u>ア. 実践交流会 (提案：中学年)</u> ・授業の中で、全体指導・個別指導でどのような手立てを行ったか資料提案する。 <u>イ. 2年生「九九名人」の取組</u> ・定着状況の把握及び願う姿に基づく今後の指導について共通理解を図る。 <u>ウ. 第4回計算大会の取組</u> ・定着状況の把握及び願う姿に基づく今後の指導について共通理解を図る。 <u>エ. 全学年CDT実施及び4・5年生県学力調査実施</u>
2月	<u>ア. 実践交流会 (提案：低学年)</u> ・授業の中で、全体指導・個別指導でどのような手立てを行ったか資料提案する。 <u>ウ. 第5回計算大会に向けての取組</u> ・実態把握と願う姿に基づく個別指導のあり方について職員の共通理解を図る <u>エ. CDTの考察</u> ・個々の定着状況の把握と成果と課題について明らかにする。 <u>オ. 進級テストに向けて</u> ・各学年の進級テスト問題についての共通理解と個々に願う姿を明らかにする。

3月	<u>ア. 実践交流会（総括）</u> ・算数の授業の観点から成果と課題を明らかにする。
	<u>イ. 低学年の取組（総括）</u> ・個々の定着状況と課題を明らかにする。
	<u>ウ. 計算大会（総括）</u> ・個々の定着状況と課題を明らかにする。
	<u>オ. 進級テスト実施</u>
	各取組や調査等の結果を踏まえ、「技能」「知識・理解」及び「考え方」の定着状況の把握と今後の指導の方向を明らかにする。

<「国語」：「書く力」の着実な定着>

4月	<p>・CDTの「書く能力」において全国平均正答率を下回る児童の実態把握を踏まえ、実践の累積について共通理解を図る。</p> <p>ア. 毎月、日記や作文のテーマと授業との関連がわかる「書く指導一覧」（昨年度作成）を利用し、交流することを確認する。</p> <p>イ. 毎月、「書くこと」にかかわる国語の授業や他教科での実践を交流していくことを確認する。</p> <p>○上記の交流を通して、児童の日記や作文、新聞等の書き方や内容の変容を検証していく。その際、学習指導要領等を参考にして本校が作成した「文を書く力を身に付けさせる日記・作文指導段階表」に基づいて定着と課題を明らかにしていく。</p>
5月	<p>ア. <u>日記や作文のテーマと国語の授業との関連を大切にした実践交流（2年生）</u></p> <p>イ. <u>「書くこと」にかかわる国語の授業や他教科での実践交流（2年生）</u></p>
6月	<p>ア. <u>日記や作文のテーマと国語の授業との関連を大切にした実践交流（4年生）</u> （実践例）4年生単元名「短歌・俳句に親しもう」から自分が感じたことを土日に日記で俳句で表現した実践交流。</p> <p>イ. <u>「書くこと」にかかわる国語の授業や他教科での実践交流（4年生）</u> （実践例）単元名「新聞を作ろう」からこの単元での学びを社会見学の紹介新聞や班新聞、「気になったニュース」として土日の作文へとつなげた実践交流。</p>
7月	<p>ア. <u>日記や作文のテーマと国語の授業との関連を大切にした実践交流</u></p> <p>イ. <u>「書くこと」にかかわる国語の授業や他教科での実践交流</u></p>
8月	○4月から7月までの児童の日記や作文の変容を「文を書く力を身に付けさせる日記・作文指導段階表」に基づいて検証し、定着と課題を明らかにしていく。
9月	<p>ア. <u>日記や作文のテーマと国語の授業との関連を大切にした実践交流（低学年）</u></p> <p>イ. <u>「書くこと」にかかわる国語の授業や他教科での実践交流（中学年）</u></p>
10月	<p>ア. <u>日記や作文のテーマと国語の授業との関連を大切にした実践交流（高学年）</u></p> <p>イ. <u>「書くこと」にかかわる国語の授業や他教科での実践交流（低学年）</u></p>

11月	ア. 日記や作文のテーマと国語の授業との関連を大切にした実践交流 (中学年) イ. 「書くこと」にかかわる国語の授業や他教科での実践交流 (高学年)
12月	ア. 日記や作文のテーマと国語の授業との関連を大切にした実践交流 (低学年) イ. 「書くこと」にかかわる国語の授業や他教科での実践交流 (中学年) ○8月から12月までの児童の日記や作文の変容を「文を書く力を身に付けさせる日記・作文指導段階表」に基づいて検証し、定着と課題を明らかにしていく。
1月	ア. 日記や作文のテーマと国語の授業との関連を大切にした実践交流 (高学年) イ. 「書くこと」にかかわる国語の授業や他教科での実践交流 (低学年)
2月	ア. 日記や作文のテーマと国語の授業との関連を大切にした実践交流 (中学年) イ. 「書くこと」にかかわる国語の授業や他教科での実践交流 (高学年)
3月	○4月から3月までの児童の日記や作文の変容を「文を書く力を身に付けさせる日記・作文指導段階表」に基づいて検証し、定着と課題を明らかにしていく。

体力向上

《研究課題「②体力向上」における本年度の具体的目標と経過について》

<p>＜具体的目標＞</p> <p>*全身持久力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29.5のスポーツテストの結果と12月の結果において全身持久力が全学年全国水準を上回る取組をする。 <p>*運動好きな子の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問紙「体力に自信がもてない。」「家人からスポーツを推奨されない。」と回答する児童を半減する取組をする。 (質問紙：毎年、5年生を対象に実施している「体力・運動能力についての質問紙調査(スポーツ庁所管)」を全校で実施) 	
4月	<p>昨年度のスポーツテストの結果から、本年度は「全身持久力」の向上及び「体力に自信が持てない子」「土日等に運動に親しまない子」への支援の在り方を課題とすることを確認する。そのための手立てとして「体育の授業の補助運動の積み上げ」「各学級で重点においた授業実践交流」「学級遊び・家庭への啓発にかかわる事例交流」「全校遊びの取組」を柱とし、実践を積み上げていくことを共通理解する。</p>
5月	<p>ア. <u>体育の授業の補助運動の積み上げ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の先生に体育の事業を参観してもらう。 <p>イ. <u>各学級で重点においた授業実践交流(1年生)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の先生に体育の事業を参観してもらう。 <p>ウ. <u>学級遊び・家庭への啓発にかかわる事例交流(中学年)</u></p> <p>エ. <u>全校遊びの取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健主事が中心となりロング昼休みに「持久力の向上」を意図した遊びを行う。 <p>○PTA本部役員会にて夏休みの親子草刈り活動の後の「親子体力作り体験」について協議し、本年度実施することになる。</p>

6月	<p><u>ア. 体育の授業の補助運動の積み上げ</u></p> <p><u>イ. 各学級で重点においた授業実践交流（高学年）</u> ・授業参観日に運動会種目「組立体操」の練習の様子を保護者にみてもらおう。 （別紙参照④）</p> <p><u>ウ. 学級遊び・家庭への啓発にかかわる事例交流（高学年）</u></p> <p><u>エ. 全校遊びの取組</u> ・保健主事が中心となりロング昼休みに「持久力の向上」を意図した遊びを行う。</p>
7月	<p><u>ア. 体育の授業の補助運動の積み上げ</u></p> <p><u>イ. 各学級で重点においた授業実践交流（3年生）</u> ・3年生単元名「けんこうな生活」</p> <p><u>ウ. 学級遊び・家庭への啓発にかかわる事例交流（低学年）</u></p> <p><u>エ. 全校遊びの取組</u> ・保健主事が中心となりロング昼休みに「体力の向上」を意図した遊びを行う。</p> <p><u>○スポーツテストの結果</u> <u><分析表一覧>・体力テスト結果一覧・結果に基づく学級での対応について協議する。</u> ・個人の総合評価・学校課題の現状及びスポーツへの所属状況アンケートの実施。 ・総合評価C～Eの児童の記録及び支援についての一覧表作成。</p> <p><u>○スポーツテストの結果に基づいて夏休みの過ごし方について検討する。</u> （例：高学年は組立体操にかかわる技の練習を課題とする。）</p>
8月	<p><u>○学級ごとに「スポーツテストの結果に基づく対応シート」を作成し、2学期からの「補助運動の在り方」や「学校・家庭生活での運動遊びの取組ませ方」について研修する。始業式に学級通信で保護者に啓発を行う。また、運動会種目や全校遊びの内容について協議する。</u></p>
9月	<p><u>ア. 体育の授業の補助運動の積み上げ</u></p> <p><u>イ. 各学級で重点においた授業実践交流（高学年）</u></p> <p><u>ウ. 学級遊び・家庭への啓発にかかわる事例交流（中学年）</u></p> <p><u>エ. 全校遊びの取組</u></p>
10月	<p><u>ア. 体育の授業の補助運動の積み上げ</u></p> <p><u>イ. 各学級で重点においた授業実践交流（低学年）</u></p> <p><u>ウ. 学級遊び・家庭への啓発にかかわる事例交流（高学年）</u></p> <p><u>エ. 全校遊びの取組</u></p>
11月	<p><u>ア. 体育の授業の補助運動の積み上げ</u></p> <p><u>イ. 各学級で重点においた授業実践交流（中学年）</u></p> <p><u>ウ. 学級遊び・家庭への啓発にかかわる事例交流（低学年）</u></p> <p><u>エ. 全校遊びの取組</u></p>
12月	<p><u>ア. 体育の授業の補助運動の積み上げ</u></p> <p><u>イ. 各学級で重点においた授業実践交流（高学年）</u> ・スポーツテスト2回目の結果から考察し、個々の伸びや願う姿について明らかにする。</p> <p><u>ウ. 学級遊び・家庭への啓発にかかわる事例交流（中学年）</u></p> <p><u>エ. 全校遊びの取組</u></p> <p><u>○スポーツテストの考察及び今後の対応について協議する。</u></p>

1月	<p>ア. 体育の授業の補助運動の積み上げ</p> <p>イ. 各学級で重点においた授業実践交流（低学年）</p> <p>ウ. 学級遊び・家庭への啓発にかかわる事例交流（高学年）</p> <p>エ. 全校遊びの取組</p> <p>○5月に実施した「体力・運動能力についての質問紙調査（スポーツ庁所管）」を改めて全校児童対象に実施する。</p>
2月	<p>ア. 体育の授業の補助運動の積み上げ</p> <p>イ. 各学級で重点においた授業実践交流（中学年）</p> <p>ウ. 学級遊び・家庭への啓発にかかわる事例交流（低学年）</p> <p>エ. 全校遊びの取組</p>
3月	<p>・本年度の課題である「全身持久力」の向上についての成果と課題及び次年度の体力向上の取組について検討する。</p> <p>・アンケート結果から「体力に自信が持てない子」「土日等に運動に親しまない子」が昨年と比較して半減したかどうかを明らかにするとともに、手立ての有効性及び今後の取組について検討する。</p>

歯科保健活動

〈研究課題「③歯科保健活動における本年度の具体的目標と経過について〉〉

〈具体的目標〉

* 歯と口の健康を守る児童の育成

・H29.10に予定されている県歯科医師会主催の歯科保健優良校候補校に応募し、実地審査で小規模校の部で県一位をめざす取組をする。（連続受賞を12回に伸ばす。）

特に以下の3点に力を入れる。

- ・栄養指導の充実と食育及び怪我の予防に関する委員会活動の定期的な取組
- ・基礎体力と歯と食育を関連付けた定期的な講話の位置付け
- ・歯科保健の啓発を目的とした福祉施設との交流

〈歯と口の健康を守る児童の育成〉

4月	<p>H29.10に予定されている県歯科医師会主催の歯科保健優良校候補校に応募し、実地審査で小規模校の部で県一位をめざすこと、連続12回の受賞を励みとして、歯と口の健康を守る児童を育てることを確認する。そのために、次の取組を日常的に大切にしていく。</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日：給食後の歯みがきとフッ化物洗口 ・毎週：火曜日ジェルの日 ・毎月：はピカ（毎月1～2回朝に歯みがきのチェックを行い歯みがき名人を選ぶ）・はぶらし点検 ・隔月：ペアジェル（異学年との給食終了後に歯みがきを学び合う） ・PTA：母親委員との連携した取組（夏休み・冬休み） ・病気予防・栄養指導の充実と食育に関する委員会活動の定期的な取組 ・基礎体力と歯と食育を関連付けた定期的な講話の位置付け <p>○4月3日 歯科衛生士を招聘し、職員のはみがき研修を実施する。</p> <p>○4月26日 「健康タイム（朝の保健指導）」で「嘔むことと全身の健康について」（養教より講話）</p>
5月	<p>ペアジェル 16日（2・5年）、8日（3・4年）</p> <p>5月18日 学校歯科医、歯科衛生士による「歯型づくり」（6年生）</p> <p>5月30日 歯科衛生士による「親子ブラッシング」（1年生・保護者）</p> <p>○保健委員会による「かみかみキャンペーン」の実施<5/22～26>（本年度より）</p> <p>・キャンペーン期間中、各学級で嘔むことのめあてを決めて毎日給食後にチェックする。保健委員会が給食の時間に放送で「かみかみタイム」を呼びかけ、30回みんなで嘔む。その後「かみかみクイズ」を提案する。</p> <p>○全日本学校歯科保健優良校表彰調査票表作成・提出</p>

6月	ペアジェル 6月5日(1・6年) 6月1日 学校歯科医、歯科衛生士参加「学童歯みがき大会」(5・6年生) 6月12日 栄養教諭による「栄養指導」(低学年) 6月13日 歯科衛生士による「RDテスト」(5年生・保護者) 6月17・18日 パーフェクトみがきキャンペーン 6月22日 歯科衛生士による「全校ブラッシング指導」(1～6年生) 6月29・30日 マリン研修での「マリンはピカ」
7月	ペアジェル 7月18日(2・5年) 11日(1・6年) 4日(3・4年) ・夏休みの歯科保健に関する宿題 親子歯みがきカレンダー(PTA母親委員会で作成)、カラーテスト、歯と口の標語 ○7月4日:全校朝会「生活習慣について」(養教より講話) ↑これを受けて、保健委員会「早寝早起き朝ごはんキャンペーン」開催(本年度より) ○7月20日 第1回学校保健安全委員会「歯と口の健康に対する提案」 ○7月下旬～岐阜県学校歯科保健優良校調査票 作成 (実地審査に向けた取り組み)
8月	実地審査当日資料提出(実地審査に向けた取り組み) 9月1日予定 PTA母親委員会「親子歯みがきカレンダー」表彰者選考
9月	9月1日 PTA母親委員会「親子歯みがきカレンダー」表彰者選考 9月13日 実地審査対象校の連絡(実地審査に向けて) 9月20日～歯科衛生士による「ブラッシング方法」の復習(実地審査に向け) 9月19日～朝の時間、給食後の歯の染め出し 給食後の歯みがき+5分 夜ジェル(歯の染め出しジェルを各自持ち帰り、夜に染め出し) 9月29日 PTA母親委員会「親子歯みがきカレンダー」表彰 9月29日 保健委員による歯と口の標語の表彰
10月	10月11日 岐阜県歯科保健優良校候補校 実地審査 10月13日 防災キャンプの夜、朝の歯みがきを「防災歯みがき」で(4年) 10月18日 歯科衛生士による「歯と全身の健康(学級活動)」(6年) 10月24日 岐阜県歯科保健優良校実地審査結果通知 ・ペアジェル 10月17日(3・4年) 24日(1・6年) 30日(2・5年)
11月	11月6日 「朝ぼうさい」で「防災歯みがきについて」(養教より講話) →給食後の歯みがきを「防災歯みがき」で実施 (全校で実施、11月以降の防災上之郷の日は防災歯みがきを行う) 11月6日 栄養教諭による栄養指導「おやつのとりを考えよう」(5年生) 11月14日 栄養教諭による栄養指導「食べ物の3つの働き」(3年生) 「栄養バランスを考えて朝ごはんを食べよう」(4年生) 11月21日～ピカリンピック (低・中・高で誰が一番きれいに歯みがきができるか競う、歯の オリンピック全7回。審判員は校長、教頭、教務。保健委員会主催) 11月29日 歯の優良校審査の報告 全校集会にて
12月	12月7日 第2回学校保健安全委員会「上小の歯科保健活動について」 (岡野歯科医より講話) 12月18日 歯科衛生士による「ピカリンピック」(4・5年生) 12月14日 歯科衛生士による「第2回ブラッシング指導」(1～4年生) ・冬休みの歯科保健に関する宿題 親子歯みがきカレンダー(PTA母親委員会作成)、カラーテスト
1月	1月12日 PTA母親委員会「親子歯みがきカレンダー」表彰者選考 1月24日 歯科衛生士による「ブラッシング指導」(5・6年生) 1月30日 PTA母親委員会「親子歯みがきカレンダー」表彰 1月30日 保健委員会 福祉施設との交流会(歯科保健の取り組み発表)
2月	2月8日 半日入学「5年生ブラッシング」(新1年生・5年生) (新1年生に染め出しをし、歯みがきの方法を教え、交流する) 2月13日 保健委員会 福祉施設との交流会(歯科保健の取り組み発表) 2月22日 学校保健安全委員会「食育に関する提案」 2月26日 「たばこの害(6年生)」 「アルコールの害(6年生)」保健師より
3月	ペアジェル (1・6年) (2・5年) (3・4年) 3月7日 新1年生小学校体験 現1年生とともに授業・給食・歯みがきを体験する。 3月8日 学校歯科医、歯科衛生士による「卒業前歯の審査」(6年生) 「薬物乱用防止教室」(6年生)学校薬剤師より ○本年度の成果と課題の明確化及び来年度の取組について検討する。

防災教育

《研究課題「④防災教育」における本年度の具体的目標と経過について》

＜具体的目標＞

***自分の命は自分で守る子の育成**

- ・予告なしに緊急地震速報を流した時に、慌てず・冷静に・真剣にシェイクアウトする児童の姿（登下校を含めた学校生活全般）を深化させる取組をする。
- ・学級活動や保健学習で「もし〇〇だったらどうしよう？」という課題の意味を理解し、正しく判断し、最善の方法を考えて行動できるための取組をする。
- ・防災教育に関わる行事等（主として4年生の防災学習、町防災訓練、親子防災学習、職員研修、アンケートに基づく検証）により防災意識の向上につなげる。

＜自分の命は自分で守る子の育成＞

4月	<p>*4月3日：全校研究会 本校の防災教育で身に付けさせたい3つの力は「判断力・行動力・生命尊重」であること、それを身に付けさせる取組の柱として「ア. 命を守る学習『名称：ぼうさいかみのごう』（月1回）」と「イ. 学級活動と保健学習、道徳における生命尊重」があり、年間の活動計画に沿って実践を積み上げていくことを確認する。また、本年度、県より「学校安全指導者派遣事業」の指定を受けたことを踏まえ「ウ. 防災に関わる諸行事（主として4年生、町防災訓練、親子防災学習、職員研修等）の充実」により児童や保護者の防災意識の向上につながるよう取組を工夫することを確認する。なお、意識の変容については、岐阜大学教授高木朗義&Do It Yourself作成の「減災力テスト」において検証していくことを確認する。</p> <p>ア. 4月14日 「避難訓練」（命を守る学習①）「名称：ぼうさいかみのごう」（校舎内でのシェイクアウト）</p> <p>イ. 4月14日 1年生：学活「火事や地震が起きたらどうするの」</p> <p>ウ. 4月17日 4年生：社会「防災に関する調べ学習」</p>
5月	<p>ア. 5月18日「連れ去り防止訓練」（命を守る学習②）「名称：ぼうさいかみのごう」（セーフティファイブ：5つの命を守る約束）</p> <p>イ. 5月31日 4年生：学活「地震が起きたらどうするの～理科室～」 ・全校研究会</p> <p>ウ. 5月8日・16日 4年生：社会「防災に関する調べ学習」</p> <p>ウ. 5月24日 4年生：社会見学：岐阜県広域防災センター</p> <p>ウ. 5月26・29日 4年生：防災センター新聞づくり</p>
6月	<p>ア. 6月7日「緊急時引取訓練」（命を守る学習③）「名称：ぼうさいかみのごう」（引取訓練の意味を学ぶ）</p> <p>イ. 6月 3年生：学活「落雷から身を守ろう」 6月 5年生：学活「地震が起きたらどうするの～海岸編～」</p> <p>ウ. 6月 2日 救急救命講習・心肺蘇生法（4年生・職員）</p> <p>ウ. 6月14日 職員研修「HUG」（岐阜大学教授 村岡治道氏）</p> <p>ウ. 6月5日・13日 4年生：総合「地震について」（パソコン室）</p> <p>ウ. 6月14日 4年生：総合「避難所体験」</p> <p>ウ. 保護者・児童向けアンケート「防災力テスト」実施</p> <p>* 6月15日 第1回町防災訓練計画会議 * 6月20日 第1回防災教育推進委員会</p>
7月	<p>ア. 7月7日「着衣泳」（命を守る学習④）「名称：ぼうさいかみのごう」（自然災害における水の危険性を知る。）</p> <p>イ. 7月7日 4～6年生「着衣泳」実施</p> <p>ウ. 7月24日 職員研修「DIG」（岐阜大学准教授 小山 真紀氏） ・親子防災学習に向けた職員研修</p> <p>* 7月 6日 第2回町防災訓練計画会議 * 7月20日 第3回町防災訓練計画会議</p>

8月	<p>* 1学期の取組において、月1回実施の防災学習「名称：ぼうさいかみのごう」と各学年が実施した学級活動での児童の変容及び成果と課題を明らかにする。防災クラブの活動が、児童や保護者の防災意識の向上につながるよう取組であったか検証する。</p> <p>* 本年度初めての試みとして、御嵩町防災訓練の日の午後に「親子防災学習」を位置づけるため、その内容について吟味・検討する。</p> <p>* 8月24日 第2回防災教育推進委員会 * 御嵩町防災訓練への本校の児童・職員の参加の仕方について共通理解を図る。 * 10月に予定されている4年生の防災キャンプへの推進委員会の協力について確認する。</p> <p>* 8月8日 第4回町防災訓練計画会議 * 8月24日 第5回町防災訓練計画会議 * 減災力テスト分析・考察</p>
9月	<p>ア. 9月3日「御嵩町防災訓練へ参加」(命を守る訓練⑤)「名称：ぼうさい かみのごう」 ・朝の活動「防災訓練について知ろう」各学年で指導 ・緊急地震速報実施予告「体育館での地震」→実施日9日3日 ・初期避難所運営訓練を実施(職員・地域) * 御嵩町防災訓練の日の午後「親子防災学習」 「非常食試食体験」 「分団別で親子DIG研修(講師：岐阜大学准教授 小山 真紀氏)」</p> <p>イ. 9月26日 2年生：学活「地震が起きたらどうするの～図書室」</p>
10月	<p>ア. 10月13日「濃尾地震」(命を守る訓練⑥+⑦)「名称：ぼうさい かみのごう」 ・緊急地震速報実施予告「昼休み中の地震(直下型)」→実施日10日13日</p> <p>イ. 10月13日～14日 「4年生防災キャンプ」 於：御嵩町防災コミュニティーセンター ・「避難所」「非常食」「パーティション作り」「ロープワーク」 「災害枕作り」「防災歯みがき」体験 ・「防災講演会」 演題「災害から身を守るために」 (講師：国土交通省 新丸山ダム工事事務所職員) (参加：児童・保護者・職員・地域の方)</p> <p>イ. 10月2日 3年生：学活「落雷から身を守ろう」 10月5日 6年生：学活「地震が起きたらどうするの～家庭科室」 10月12日 5年生：学活「地震が起きたらどうするの～音楽室」</p> <p>* 10月2日 第3回防災教育推進委員会</p>
11月	<p>ア. 11月6日「津波防災の日」(命を守る訓練⑧)「名称：ぼうさい かみのごう」 ・朝の活動「津波防災の日を知ろう」「防災歯みがきについて」ビデオ視聴と実演 ・緊急地震速報実施予告「掃除の地震」→実施日11日6日</p> <p>イ. 11月28日 1年生：学活「地震が起きたらどうするの～休み時間」</p>
12月	<p>ア. 12月1日「避難訓練・初期消火訓練」(命を守る訓練⑨)「名称：ぼうさい かみのごう」 ・緊急地震速報実施予告「登校後の地震」→実施日12日1日</p> <p>イ. 12月18日 5年生：保健「傷の手当(基本編)」 12月20日 5年生：総合「傷の手当(応用編)」</p> <p>* 2学期の取組において、月1回実施の訓練「名称：ぼうさいかみのごう」と各学年が実施した学級活動での児童の変容及び成果と課題を明らかにする。 * 「減災力テスト」2回目実施</p>
1月	<p>ア. 1月17日「阪神・淡路大震災から学ぶ」(命を守る訓練⑩)「名称：ぼうさい かみのごう」 ・緊急地震速報実施予告「下校中の地震」→実施日1日〇〇日</p> <p>イ. 1月18日 3年生：学活「地震が起きたらどうするの～図工室」 1月19日 4年生：学活「地震が起きたらどうするの～直下型地震」 1月24日 4年生：総合「ふるさとの災害について知ろう」 平成23年9月20日集中豪雨の時の話(次月・三宅さん)</p>
2月	<p>ア. 2月15日「校舎の構造について学ぶ」(命を守る訓練⑪)「名称：ぼうさい かみのごう」 ・朝の活動「防火シャッターについて知ろう」「土砂災害時での避難について知る」 ・緊急地震速報実施予告「授業中の地震」→実施日2日7日 13日 15日</p>

3月	<p>ア. 3月9日「避難訓練 Final」(命を守る訓練②)「名称：ぼうさい かみのごう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の活動「東日本大震災について知ろう」「津波の怖さについて」ビデオ視聴と指導 ・垂直避難の理解及び防火シャッターの実演 ・緊急地震速報実施予告「給食時の地震」「休み時間の地震」 <p>同じ日に複数回実施予定→実施日3日9日</p> <p>*1年間の取組において、月1回実施の訓練「名称：ぼうさいかみのごう」と各学年が実施した学級活動での児童の変容及び成果と課題を明らかにする。各活動が、児童や保護者の防災意識の向上につながるように取組であったか検証する。</p>
----	---

保・小・中連携

＜研究課題「⑤保・小・中の連携」における本年度の具体的目標と経過について＞

<p>＜具体的目標＞</p> <p><u>*保・小の連携</u></p> <p>幼稚園教育要領改訂に伴い示された「育ちの姿10項目」の観点で保・小で願う姿とカリキュラムを捉えなおすと共に、共通課題に基づく実践交流の積み上げ及び園児を巻き込んだ意図的・系統的な生活科の単元を実践し、小1プロブレムを解消する取組をする。</p> <p><u>*小・中の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に関わる児童の意識調査を継続的に実施し、指導改善することを通して、興味関心や意欲の向上を図っていく。 ・楽譜を読む力を身に付けると共に、パート練習を子ども同士で行うことを大切に活動した活動を継続的に行うことで児童が声を重ねて合唱を楽しむ姿をめざす。

＜保・小・中の連携＞

4月	<p>*保・小・中の連携においては、下記の2点を具体的目標とするが、それを支える諸会議や交流事業についても月毎に記載する。</p> <p><u>*ア. 保・小の連携</u></p> <p>幼稚園教育要領改訂に伴い示された「育ちの姿10項目」の観点で保・小で願う姿とカリキュラムを捉えなおすと共に、共通課題に基づく実践交流の積み上げ及び園児を巻き込んだ意図的・系統的な生活科の単元を実践し、小1プロブレムを解消する取組をすることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の先生による授業参観 <p><u>*イ. 小・中の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に関わる児童の意識調査を継続的に実施し、指導改善することを通して、興味関心や意欲の向上を図っていくことと、楽譜を読む力を身に付けると共に、パート練習を子ども同士で行うことを大切に活動した活動を継続的に行うことで児童が声を重ねて合唱を楽しむ姿をめざすことを確認する。 ○中学校の音楽専科による小学校6年生のT2指導が始まる。 ○児童に第1回意識調査を実施する。 <p>*4月27日 第1回上之郷小中学校職員合同交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習・生活において9か年を見通して身に付けさせたい内容について共通理解を図る。
5月	<p><u>*ア. 保・小の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月23日 第1回幼保小長会で保育園との年間連携計画と重点事項を共通理解する。 ・4・5月分のスタートカリキュラムを整理する。 ○その①「育ちの姿10項目」に照らして、「保・小で願う姿」と「アプローチ・スタートカリキュラム」を捉えなおす。 <p><u>*イ. 小・中の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学校の音楽専科による小学校6年生のT2指導。 ・楽譜の読み方指導(基礎①) ・5月17日 昨年からはまった中学校の茶摘み体験に6年生が参加する。 <p><u>*ア・イ保・小・中連携</u></p>

6月	<p><u>*ア. 保・小の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月6日 第1回学校運営協議会に保育園職員が参加。 ・6月20日 1年生生活科：小単元「みんなのこうえんであそぼう」 保育園の園庭を公園に見立てて園児と交流をする。 <p>○その②「育ちの姿10項目」に照らして、「保・小で願う姿」と「アプローチ・スタートカリキュラム」を捉えなおす。</p> <p><u>*イ. 小・中の連携</u></p> <p>○中学校の音楽専科による小学校6年生のT2指導。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の読み方指導（基礎②） <p><u>*ア・イ保・小・中連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月7日「緊急時引取訓練」（保・小・中合同で実施） ・6月20日 第1回上之郷小学校区防災教育推進委員会（保育園・中学校職員参加）
7月	<p><u>*ア. 保・小の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月7日 園主催の「縁日ごっこ」に放課後児童クラブが参加。小学校職員参観。 ・7月21日 小学校職員保育体験 ・運動遊びにかかわる授業の参観・給食後の「歯みがき指導」の研修に参加 <p>○その③「育ちの姿10項目」に照らして、「保・小で願う姿」と「アプローチ・スタートカリキュラム」を捉えなおす。</p> <p><u>*イ. 小・中の連携</u></p> <p>○中学校の音楽専科による小学校6年生のT2指導。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の読み方指導（基礎③） ○児童に第2回意識調査を実施する。 ・7月20日 第1回学校保健安全委員会に保育園・中学校職員が参加。
8月	<p><u>*ア. 保・小の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月8日 第2回学校運営協議会に保育園職員が参加。 ・8月24日 第2回上之郷小学校区防災教育推進委員会に保育園職員参加。 <p>○その④「育ちの姿10項目」に照らして、「保・小で願う姿」と「アプローチ・スタートカリキュラム」を捉えなおす。</p> <p><u>*イ. 小・中の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月23日 第2回上之郷小中交流会 「学習習慣部会」と「生活習慣部会」より提案・共通理解を行う。 ・音楽担当者と1学期の成果と課題及び児童の意識調査の結果を踏まえ、実践の積上げを確認する。 <p><u>*ア・イ保・小・中連携</u></p>
9月	<p><u>*ア. 保・小の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月26日 1年生生活科：小単元「むしをさがそう」 園児を学校に招待して、一緒に虫をつかまえる活動をする。 <p>○その⑤「育ちの姿10項目」に照らして、「保・小で願う姿」と「アプローチ・スタートカリキュラム」を捉えなおす。</p> <p><u>*イ. 小・中の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月3日 町防災訓練・親子防災学習に中学生の参加 <p>○中学校の音楽専科による小学校6年生のT2指導。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の読み方指導（応用①）
10月	<p><u>*ア. 保・小の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月10日 第3回学校運営協議会に保育園職員が参加。 ・10月11日 保育園職員による1・2年生の体育の授業参観と給食試食・懇談会の実施。 <p>○その⑥「育ちの姿10項目」に照らして、「保・小で願う姿」と「アプローチ・スタートカリキュラム」を捉えなおす。</p> <p><u>*イ. 小・中の連携</u></p> <p>○中学校の音楽専科による小学校6年生のT2指導。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の読み方指導（応用②） <p><u>*ア・イ保・小・中連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月2日 第3回上之郷小学校区防災教育推進委員会に保育園・中学校職員参加。

11月	<p><u>*ア. 保・小の連携</u> ・11月30日 1・2年生活科「みんなであそぼう」「生活科まつり」 園児を学校に招待して、秋のおもちゃを使って遊ぶ。 ○その①「育ちの姿10項目」に照らして、見直した「保・小で願う姿」と「アプローチ・スタートカリキュラム」について、保育園・小学校で検討する。</p> <p><u>*イ. 小・中の連携</u> ・11月8日 第3回上之郷小中拡大交流会 於上之郷中学校 ○中学校の音楽専科による小学校6年生のT2指導。 ・パート練習を大切にした音楽指導① ・11月16日～23日 小中連携ノーメディアデー実施 ・11月18日 中学校芸術鑑賞会に小学校教頭・保護者・児童（有志）が参加 ・11月25日 小中合同PTA資源回収実施</p>
12月	<p><u>*ア. 保・小の連携</u> ○その②「育ちの姿10項目」に照らして、見直した「保・小で願う姿」と「アプローチ・スタートカリキュラム」について、保育園・小学校で検討する。</p> <p><u>*イ. 小・中の連携</u> ○中学校の音楽専科による小学校6年生のT2指導。 ・パート練習を大切にした音楽指導② ○児童に第3回意識調査を実施する。 ・音楽担当者と2学期の成果と課題及び児童の意識調査の結果を踏まえ、実践の積上げを確認する。 ・12月7日 第2回学校保健安全委員会に保育園・中学校職員が参加</p> <p><u>*ア・イ保・小・中の連携</u> ・12月16日 中学校合唱祭に小学校教頭・保護者・児童（有志）が参加</p>
1月	<p><u>*ア. 保・小の連携</u> ・保育園主催の「お正月カルタ取り」に放課後児童クラブの児童参加。（今年はなし） ○「育ちの姿10項目」に照らして、見直した「保・小で願う姿」と「アプローチ・スタートカリキュラム」について加除訂正する内容を確認する。</p> <p><u>*イ. 小・中の連携</u> ○中学校の音楽専科による小学校6年生のT2指導。 ・パート練習を大切にした音楽指導③ ○児童に第3回意識調査を実施する。 ・児童の音楽に対する意識の変容を考察するとともに、卒業合唱に向けた取組を積み上げる中でパート練習の力を高めていく。</p>
2月	<p><u>*ア. 保・小の連携</u> ・2月2日 保育園造形展を小学校職員が鑑賞 ・2月7日 第4回学校運営協議会に保育園職員が参加。 ・本年度の成果と課題を明確にし、共通理解する。</p> <p><u>*イ. 小・中の連携</u> ○中学校の音楽専科による小学校6年生のT2指導。 ・卒業合唱に向けた取組を積み上げる中でパート練習の力を高めていく。 来年度も引き続き中学校の音楽の専科によるT2の指導が可能かどうか協議する。 ・2月15日～23日 小中連携ノーメディアデー実施</p> <p><u>*ア・イ保・小・中の連携</u> ・2月8日 半日入学で5年生との交流 ・2月22日 第3回学校保健安全委員会に保育園・中学校職員が参加。</p>
3月	<p><u>*ア. 保・小の連携</u> ・3月7日 生活科：小単元「あたらしい1ねんせいをしようたいしよう」 園児を学校に招待して、「ゲーム」「給食会」「なかよし歯みがき」を行う。 ・本年度作成した「育ちの10の姿」の観点で見直した「保・小で願う姿」と「アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム」に基づいて次年度、実践を積み上げていくことを確認する。</p> <p><u>*イ. 小・中の連携</u> イ 中学校の専科によるT2指導の良さを次年度も引き継ぐとともに、小学校職員の中学校への兼務体制も検討していく。その際、専科による指導の有効性を検証するために、児童の意識の変容及び教科で育てたい願う児童・生徒の姿を明確にして臨むことを確認。</p>

小規模特認校・放課後子ども教室

「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題と具体的目標

4月	<p><小規模特認校の推進> *小規模特認校の理解・啓発と児童の募集及び円滑な就学手続きの在り方 ・小規模特認校制度を利用して、平成30年度の入学者の内、他の校区から3名程度通学することをめざす。</p>
5月	<p><放課後子ども教室の設置・運営> ・詩吟や盆踊り、英語活動等の学びを地域で披露する姿をめざす。 ・「地域に学ぶ学校・地域を愛する学校・地域に働きかける学校」を推進する運営を行う。 (H28:15回の活動で8団体+町AL T関わった人数は述べ71人。H29も同程度の回数と人数で運営をする。)</p> <p><御嵩町スポーツ少年団への参加促進(スポーツ交流の充実)> *運動好きな子の育成と社会性の涵養 ・スポーツ少年団の参加加入率25%を維持する。 ・スポーツ交流会・体験会への参加率35%をめざす。 ・土日の過ごし方で、スポ少やその他の運動教室、習い事、スポーツ交流会等どれにも参加していない児童(全校の13%)を半減する。</p>

「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題に関わって

<研究課題①小規模特認校の推進 ②放課後子ども教室の設置・運営 ③御嵩町スポーツ少年団への参加促進>

4月	<p><小規模特認校の推進> *平成29年4月より上之郷小学校が小規模特認制度を利用した学校であることを様々な場所で理解・啓発することを確認する。また、現在、上之郷小学校区防災教育推進委員会に教育委員会として参画しているが、本年度より、学校運営協議会にもオブザーバーとして参加し、特色ある小規模特認校を推進する。 ○小規模特認校制度を利用して、平成30年度の入学者の内、他の校区から3名程度通学することをめざすことを確認する。</p> <p><放課後子ども教室の設置・運営> ・詩吟や盆踊り、英語活動等の学びを地域で披露する姿をめざすこと、「地域に学ぶ学校・地域を愛する学校・地域に働きかける学校」を推進する運営を行うことを確認する。尚、昨年度は年間15回の活動で8団体+町AL Tが関わり述べ71人が協力した。本年度も月2回の教室開設と協力者を述べ70名程度とする。 ○1~3年生を対象に「放課後子ども教室募集案内」を配布する。</p> <p><御嵩町スポーツ少年団への参加促進(スポーツ交流・体験会の充実)> ・各スポーツ少年団との交流会及び体験会への参加率35%をめざすとともに、スポ少加入率25%を維持することを確認する。 ・土日の過ごし方で、スポ少やその他の運動教室、習い事、スポーツ交流会等どれにも参加していない児童(全校の13%)を半減する取組をすることを確認する。</p>
5月	<p><小規模特認校の推進> ・御嵩町乳幼児学級の担当者と連絡し、本校の訪問日時と内容を協議する。「学校開放日(学校説明会)」を設定する。 ・5月24日「学校開放日(学校説明会)1実施: 対象:御嵩町乳幼児学級(御嵩・上之郷地区)(別紙参照①) ・保護者向け「学校見学会案内文書」の内容及び配布先と配布時期、見学会の日時と内容、面接の時期等学校と協議する。</p> <p><放課後子ども教室の設置・運営> ・5月16日 開所式 Aチーム「スポーツ教室」 Bチーム「英語教室」 ・5月30日 Aチーム「尺八教室」 Bチーム「詩吟教室」</p> <p><御嵩町スポーツ少年団への参加促進(スポーツ交流・体験会の充実)> みたけスポーツ・文化倶楽部と学校・教育委員会で本年度のスポーツ交流会・体験会の成果と課題を明らかにする。昨年に引き続き交流会への協力について御嵩町スポーツ少年団常任理事会で協議することを確認する。 ○第1回調査「土日等の過ごし方」を児童に行う。</p>

6月	<p><小規模特認校の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月6日 第1回学校運営協議会 ○本年度初めて実施する御嵩町乳幼児学級及び上之郷保育園保護者を対象とした「学校開放日（学校説明会）」について提案・協議する。 ・6月20日 第1回上之郷小学校区防災推進会議 ・上之郷小学校では昨年作成した学校見学会用「学校紹介」の内容を更新する。 <hr/> <p><放課後子ども教室の設置・運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月13日 Aチーム「英語教室」 Bチーム「盆踊り教室」 ・6月27日 Aチーム Bチーム「盆踊り教室」 <hr/> <p><御嵩町スポーツ少年団への参加促進（スポーツ交流・体験会の充実）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・御嵩町スポーツ少年団臨時理事会で「上之郷小学校スポーツ交流会」に少年団として協力するかどうか協議。 ・了承後、交流会の実施時期、回数についてスポーツ少年団で検討。
7月	<p><小規模特認校の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月3日 「学校開放日（学校説明会）2実施： 対象：御嵩町乳幼児学級（伏見・中地区）」 ・教育委員会が作成した「学校見学会案内文書」の内容について学校と協議する。 <hr/> <p><放課後子ども教室の設置・運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月11日 Aチーム「三味線と歌教室」 Bチーム「スポーツ教室」 ・御嵩町文化協会発表会への参加募集 <hr/> <p>○7月22日 上之郷公民館主催「盆踊り」への児童の参加（別紙参照②）</p> <hr/> <p><御嵩町スポーツ少年団への参加促進（スポーツ交流・体験会の充実）></p>
8月	<p><小規模特認校の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月24日 第2回上之郷小学校区防災推進会議 ・「学校見学会案内文書」と「学校紹介」の内容について、学校と最終確認をする。 <hr/> <p><放課後子ども教室の設置・運営></p> <hr/> <p><御嵩町スポーツ少年団への参加促進（スポーツ交流・体験会の充実）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各スポーツ少年団の代表者が交流会のどの時期にどの少年団が活動するのか協議 ・みたけスポーツ・文化倶楽部と学校で体験会の内容と開催時期を協議する。
9月	<p><小規模特認校の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月25日 第2回学校運営協議会 ○「学校見学会案内文書」と「学校紹介」の内容について助言をいただく。 <hr/> <p><放課後子ども教室の設置・運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月12日 Aチーム「詩吟教室」 Bチーム「尺八教室」 ・9月26日 Aチーム「ハンドベル教室」 Bチーム「英語教室」 <hr/> <p><御嵩町スポーツ少年団への参加促進（スポーツ交流・体験会の充実）></p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ少年団体験会の案内配布
10月	<p><小規模特認校の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校見学会案内文書」を町内の小学校で開催する就学時健康診断の日に保護者に配布する。それとともに、御嵩町のホームページ・上之郷小学校のホームページとポータルサイト「みたけ暮らし」にアップする。 ・10月2日 第3回上之郷小学校区防災推進会議 <hr/> <p><放課後子ども教室の設置・運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月10日 Aチーム「英語教室」 Bチーム「民謡・太鼓教室」 ・10月24日 Aチーム「民謡・太鼓教室」 Bチーム「三味線で歌教室」

11月	<p><小規模特認校の推進> ・11月7日・13日・21日の3日間を学校説明会の日とする。</p> <p><放課後子ども教室の設置・運営> ・11月7日 Aチーム「英語教室」 Bチーム「スポーツ教室」 ・11月21日 Aチーム「詩吟教室」 Bチーム「尺八教室」 ・11月14日、24日 詩吟講師による指導〈公民館祭りに向けて〉 ○11月26日 上之郷公民館祭りで「詩吟」を有志の児童が、「英語の歌」を3・4年生が披露 [別紙1参照]</p> <p><御嵩町スポーツ少年団への参加促進(スポーツ交流・体験会の充実)> ・11月18日 御嵩野球スポーツ少年団体験会開催 ・11月19日 御嵩サッカースポーツ少年団体験会開催</p>
12月	<p><小規模特認校の推進> ・小規模特認校入学申請書を提出した保護者(園児・児童同席)の面接を実施。その後、学校から提出された「受け入れに係る意見書」を参考にし、保護者に就学の可否について通知。</p> <p><放課後子ども教室の設置・運営> ・12月12日 Aチーム「スポーツ教室」 Bチーム「英語教室」</p> <p><御嵩町スポーツ少年団への参加促進(スポーツ交流・体験会の充実)> ・12月10日 御嵩野球スポーツ少年団との交流会</p>
1月	<p><小規模特認校の推進> ・2月の「6年生を送る会」の参観案内を御嵩町乳幼児学級と上之郷保育園保護者に発送する。</p> <p><放課後子ども教室の設置・運営> ・1月16日 Aチーム「英語教室」 Bチーム「スポーツ教室」 ・1月30日 Aチーム「尺八教室」 Bチーム「詩吟教室」</p> <p><御嵩町スポーツ少年団への参加促進(スポーツ交流・体験会の充実)> ○第2回調査「土日等の過ごし方」を児童に行う。</p>
2月	<p><小規模特認校の推進> ・2月23日 「6年生を送る会」：御嵩町乳幼児学級・上之郷保育園保護者参観 ・2月5日 第3回学校運営協議会 ○本年度の小規模特認校制度を活用した人数及び受入可否について説明する。 ○本年度初めて実施した「学校開放(学校説明会)」と「6年生を送る会」参観の成果と課題を説明する。</p> <p><放課後子ども教室の設置・運営> ・2月13日 Aチーム「英語教室」 Bチーム「スポーツ教室」 ・2月27日 Aチーム「スポーツ教室」 Bチーム「英語教室」</p> <p><御嵩町スポーツ少年団への参加促進(スポーツ交流・体験会の充実)> ・2月2日 御嵩女子バレースポーツ少年団との交流会 ・2月17日 御嵩女子バレースポーツ少年団体験会開催 ・2月17日 フェンシング体験(朝日大学体育会フェンシング部)</p>
3月	<p><小規模特認校の推進> ・H30.3現在の上之郷小学校地区の0歳から6歳児の在籍人数と転居情報等を加味し、次年度の応募学年と人数を確定する。</p> <p><放課後子ども教室の設置・運営> ・3月6日 Aチーム「詩吟教室」 Bチーム「尺八教室」</p> <p>○放課後教室での学びを他の場所で披露した児童の感想や参観者及び指導者の感想を参考にして次年度の活動内容について検討する。</p>

<御嵩町スポーツ少年団への参加促進(スポーツ交流・体験会の充実)>

- ・3月10日 御嵩サッカースポーツ少年団との交流会
- ・各スポーツ少年団との交流会及び体験会への参加率とスポ少加入率から本年度の成果と課題を明らかにする。
- ・2回の質問紙「土日等の過ごし方」で、スポ少やその他の運動教室、習い事、スポーツ交流会等どれにも参加していない児童が半減したかどうか、その理由や有効な手立て及び次年度の取組について協議する。

8月8日(火) 第1回 少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進委員会開催

2月7日(水) 第2回 少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進委員会開催

2月17日(土) フェンシング体験会(朝日大学体育会フェンシング部)

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

※取組内容が分かる資料等がある場合は、適宜添付すること。

※本事業から経費を支出した事項(会議・研修会・フォーラム等の開催、視察、調査研究の委託など)については、必ず記載すること。

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題

①学力向上

*算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着

(具体的目標)

・学力調査(CDT学力到達度診断)の「技能」「知識・理解」において全国平均正答率を下回る児童の割合(技能:13%・知識:15%)を半減する取組を行う。

(達成状況)

○全国正答率を下回る児童の割合は全体で「技能:13%」「知識:16%」であった。一方、昨年度、全国平均正答率を下回っていた現2年～現6年の75%が技能・知識ともに全国を上回ったことがわかった。これは、実態把握に基づく支援の在り方を明確にして実践を積み上げたこと、支援員と担任によるTT指導及び計算スキルや計算大会の取組が奏功したと考える。また、本年度、CDTの結果と単元テストの観点別到達率の視点で学びの定着について把握しながらきめ細かな支援をしたことが数値として現れたと考える。

●全国平均正答率を下回る児童へのさらなる支援と「考え方」の観点の向上が課題である。

*「書く力」の着実な定着

(具体的目標)

・学力調査(CDT学力到達度診断)の「書く能力」において全国平均正答率を下回る児童の割合(43%)を半減する取組を行う。

(達成状況)

・「書く力」の全国平均正答率を下回る児童の割合が、全体の「43%」から「26.3%」に減少し、全国平均正答率を下回っていた現2年～現6年の50%が全国を上回った。また、昨年度の「書く力」の全校平均は、全国と比べ「-0.5割」であったが、本年度は「+4.5割」であった。これは、国語の学びを土日の作文に汎化させる指導の積み上げと、各学年の書く指導に関わる職員会での実践交流が奏功したと考える。

●全国平均正答率を下回る児童へのさらなる支援が課題である。

②体力向上

*全身持久力の向上

(具体的目標)

・H29.5のスポーツテストの結果と12月の結果において全身持久力が全学年全国水準を上回る取組をする。

(達成状況)

・全身持久力が全国水準を上回ったのは1年・6年・2年男子・5年女子であった。一方、学校課題であった反復横跳びは全学年全国水準を上回り、握力、上体起こしは、2年・3年男子以外は上回った。また、学級課題であった50m走は12月には全学年全国水準を上回った。

●本年度、スポーツテストの総合評価C～Eの児童の個別支援を明らかにして記録の変容をみることにした。次年度は、総合評価C～Eの児童の変容を促すことを具体的目標としたい。

*運動好きな子の育成

(具体的目標)

・質問紙「体力に自信がもてない。」「家人からスポーツを推奨されない。」と回答する児童を半減する取組をする。

(達成状況)

・昨年度「体力に自信がもてない。」と答えた児童は31%(23人)であった。本年度1学期調査は35%(27名)だったが、1月調査では23%(17名)となり、体育の授業や学級や全校遊び等の取組や放課後や土日に運動に親しむことで体力に自信がついてきたと考える。また、「体力向上について目標を立てている。」と回答した児童が、昨年度は50%だったが、今年は73%になり、運動への意欲・関心が高まったと考える。「家人からスポーツを推奨されない。」と回答する児童は昨年同様、約3割であったが、「親からよく勧められる。」と回答した児童が、36%から45%に向上した。

③歯科保健活動

*歯と口の健康を守る児童の育成

(具体的目標)

・H29.10に予定されている県歯科医師会主催の歯科保健優良校候補校に応募し、実地審査で小規模校の部で県一位をめざす取組をする。(連続受賞を12回に伸ばす。)

(達成状況)

- ・岐阜県学校歯科保健優良校小規模校の部で県一位を受賞。
- ・全日本学校歯科保健優良校小規模校の部で「日本学校歯科医会会長賞(全国で二位)を受賞。

*本年度は、学校歯科医からの助言を受け、以下の3点に力を入れて実践を積み上げた。

- ・栄養指導の充実と食育及び怪我の予防に関する委員会活動の定期的な取組
- ・基礎体力と歯と食育を関連付けた定期的な講話の位置付け
- ・歯科保健の啓発を目的とした福祉施設との交流

④防災教育

<具体的目標>

*自分の命は自分で守る子の育成

(具体的目標1)

・予告なしに緊急地震速報を流した時に、慌てず・冷静に・真剣にシェイクアウトする児童の姿(登下校を含めた学校生活全般)を深化させる取組をする。

(達成状況)

・登校時や下校時においても、慌てず・冷静に・真剣にシェイクアウトする姿が当たり前になってきた。また、水平避難だけでなく垂直避難の意味を理解し、冷静に対応できてきたし、熊本地震のような内陸型地震が身近に起きるといふ危機意識が高まり、自助の大切を話す姿が多くなった。

(具体的目標2)

・学級活動や保健学習で「もし〇〇だったらどうしよう?」という課題の意味を理解し、正しく判断し、最善の方法を考えて行動できるための取組をする。

(達成状況)

・各学年、年間2回の学級活動での防災学習だが、「課題→最善の避難の仕方を考える→実際に演習する→振り返る」の学習の流れを理解して学ぶ姿が低学年でも定着してきた。5年生の保健学習「怪我の予防」では1時間で基礎を学び、それを汎化させるために2時間の活動を仕組んだ。このことで、時と場に応じて対応することの大切さを子どもが実感できた。

(具体的目標3)

・防災教育に関わる行事等(主として4年生の防災学習、町防災訓練、親子防災学習、職員研修、アンケートに基づく検証)により防災意識の向上につなげる。

(達成状況)

・本年度「減災力テスト」を6月と12月に実施し意識の変容を見ることにした。児童の平均点は、「57.4点」が「70.4点」、保護者が「57.3点」が「68.6点」とどちらも高まった。特に、児童でみると、防災キャンプを始めとして本校の防災教育の中核となる4年生の点数が「56点」から「82点」と大きく変化した。

⑤保・小・中の連携

*保・小の連携

(具体的目標)

幼稚園教育要領改訂に伴い示された「育ちの姿10項目」の観点で保・小で願う姿とカリキュラムを捉えなおすと共に、共通課題に基づく実践交流の積み上げ及び園児を巻き込んだ意図的・系統的な生活単元の単元を実践し、小1プロブレムを解消する取組をする。

(到達状況)

幼児期までに育ってほしい「10の姿」を保育園の願う3つの力(生活・学習・関わる)に整理し、「入学までに願う姿」と「小学校の4・5月にめざす姿」を明らかにした。その中で「10の姿」の「思考力の芽生え」「協同性」「自然との関わり・生命尊重」の3つの姿が保育園・小学校でめざす姿が不明確であったため検討した。これに基づいて、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムを見直していく。特に、スタートカリキュラムでは、保育園で大切にしている指導内容との類似点を改めて明確にする。引き続き、体力向上・食育を共通課題として、研修や授業交流したことは連携を深める。また、園が企画した「お店屋さんごっこ」への低学年の参加や園児を巻き込んだ生活単元の意図的な実践の積み上げを大切に小1プロブレム解消につなげていく。

*小・中の連携

(具体的目標)

- ・音楽に関わる児童の意識調査を継続的に実施し、指導改善することを通して、興味関心や意欲の向上を図っていく。
- ・楽譜を読む力を身に付けると共に、パート練習を子ども同士で行うことを大切に活動した活動を継続的に行うことで児童が声を重ねて合唱を楽しむ姿をめざす。

(達成状況)

- ・意識調査の結果を見ると、音楽の専門の先生からの指導に大半の児童が満足していることがわかる。
- ・楽譜の読み方の指導の結果、回を重ねるごとに、楽譜の読み方意味を理解して合唱に生かそうとする子が増えてきた。パート練習にも自信をもって取り組むようになってきた。

「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題

<小規模特認校の推進>

*小規模特認校の理解・啓発と児童の募集及び円滑な就学手続きの在り方

(具体的目標)

- ・小規模特認校制度を利用して、平成30年度の入学者の内、他の校区から3名程度通学することをめざす。

(達成状況)

- ・制度を利用して2名の児童が、平成30年度より通学する。
- ・本年度、学校運営協議会で「町内の乳幼児学級の保護者を対象にした学校見学を企画してはどうか。」という提案を受け2回実施した。このことは小規模校の良さを啓発するだけでなく、本校を入学先として考えてもらえる機会にもなった。また、保育園が開催している未就園児を対象とした「遊びの広場(月1回)」に上之郷地区以外から参加する保護者が増えてきて、小規模の保育園の良さに関心が高まってきた。

②放課後子ども教室の設置・運営

(具体的目標1)

- ・詩吟や盆踊り、英語活動等の学びを地域で披露する姿をめざす。

(達成状況)

- ・夏休み前に盆踊りを学び、公民館主催の盆踊りを大いに盛り上げた。また、11月に開催された公民館祭りで有志の児童が詩吟が披露したし、3・4年生が英語「レインボー」の歌を披露した。

(具体的目標2)

- ・「地域に学ぶ学校・地域を愛する学校・地域に働きかける学校」を推進する運営を行う。

(達成状況)

- ・本年度、17回実施。9団体+町ALITが指導者。述べ76名が放課後子ども教室にかかわる。このことから見て、放課後子ども教室が地域に支えられていることが理解できるし、まさに、上之郷小学校が推進する「地域に学ぶ学校・地域を愛する学校・地域に働きかける学校」の一役を担っていることがわかる。

③スポーツ少年団の参加率向上

*運動好きな子の育成と社会性の涵養

(具体的目標1)

- ・スポーツ少年団の参加加入率25%を維持する。

(達成状況)

- ・参加加入率は23%であった。しかし、スポ少以外の運動教室に通う児童の割合は「22%」から「34%」になったし、運動する割合も「46%」から「56%」に増加した。今後は、運動する割合を増やすことを目標にしたい。

(具体的目標2)

- ・スポーツ交流会・体験会への参加率35%をめざす。

(達成状況)

- ・参加率は昨年は34%、本年度は31%であった。スポーツ交流会が昨年より回数が減ったことが要因である。今後は、市町村等の運動や体験活動への参加状況も加味する必要がある。

(具体的目標3)

- ・土日の過ごし方で、スポ少やその他の運動教室、習い事、スポーツ交流会等どれにも参加していない児童(全校の13%)を半減する。

(達成状況)

- ・全校の17%(13人)がどれにも参加していない結果となった。今後は、市町村等の運動や体験会への参加状況等も含め個別に支援していく必要がある。

※必要に応じて、適宜、表を追加・削除すること。

(2) 成果物等

8つの研究課題に応じて設定した具体的目標を達成するため月毎に様々な取組を行った。その内容を冊子としてまとめたものを成果物として報告する。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

※成果物（冊子・パンフレット等の印刷物）については、10部添付すること。

※成果物（冊子・パンフレット等の印刷物）の電子媒体がある場合は、併せて送付すること。

(3) 今後の取組予定

「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題

①学力向上

*算数における「考え方」「技能」「知識・理解」の着実な定着

CDT（H30.1実施）の結果、3つの観点のいずれかが全国と比べ、本人の正答が低かった児童（H29年度1年生～5年生の27名/64名）の割合を半減する取組を行う。

*「書く力」の着実な定着

CDTの「書く能力」において全国平均正答率を下回る児童の割合（26.3%）を半減する取組を行う。

②体力向上

*総合評価の向上

スポーツテスト（H29.5実施）の総合評価がC～Eの児童（H29年度1年生～5年生の26名/64名）の記録が全国水準に近づく取組を行う。

*運動好きな子の育成

質問紙「体力に自信がもてない。」「家人からスポーツを推奨されない。」と回答する児童を半減する取組をする。

③歯科保健活動

*歯と口の健康を守る児童の育成

H30.10に予定されている県歯科医師会主催の歯科保健優良校候補校に応募し、実地審査で小規模校の部で県一位をめざす取組をする。

*昨年に引き続き、学校歯科医からの助言を受けた3点に留意する。

- ・栄養指導の充実と食育及び怪我の予防に関する委員会活動の定期的な取組
- ・基礎体力と歯と食育を関連付けた定期的な講話の位置付け
- ・歯科保健の啓発を目的とした福祉施設との交流

④防災教育

*自分の命は自分で守る子の育成

- ・予告なしに緊急地震速報を流した時に、慌てず・冷静に・真剣にシェイクアウトする児童の姿（登下校を含めた学校生活全般）を深化させる取組をする。
- ・学級活動や保健学習で「もし〇〇だったらどうしよう？」という課題の意味を理解し、正しく判断し、最善の方法を考えて行動できるための取組をする。
- ・減災力テストの平均点、児童（70.4点）・保護者（68.6点）を5点増やす。

⑤保・小・中の連携

*保・小の連携

アプローチ・スタートカリキュラムを幼児期までに育てほしい「10の姿」に基づいて見なおすとともに、共通課題に基づく実践交流の積み上げと園児を巻き込んだ意図的・系統的な生活単元を実践し小1問題を解消する取組をする。

*小・中の連携

- ・学力（国語・算数）と体力について、小中9か年を見据えた系統的な指導と検証を行う。
- ・音楽に関わる児童の意識調査を継続的に実施し、指導改善することを通して、興味関心や意欲の向上を図っていく。
- ・楽譜を読む力を身に付けると共に、パート練習を子ども同士で行うことを大切に活動した活動を継続的に行うことで児童が声を重ねて合唱を楽しむ姿をめざす。

「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題

①小規模特認校の推進

*小規模特認校の理解・啓発と児童の募集及び円滑な就学手続きの在り方

- ・平成31年度、他の校区3名程度が制度を利用して通学することをめざす。
- ・乳幼児学級の学校見学会を実施し、本校の理解・啓発を行う。

②放課後子ども教室の設置・運営

- ・詩吟や盆踊り、英語活動等の学びを地域で披露する姿
- ・「地域に学ぶ学校・地域を愛する学校・地域に働きかける学校」を推進する運営を行う。

③スポーツ少年団の参加率向上

*運動好きな子の育成と社会性の涵養

- ・スポーツ少年団の加入率25%及び運動する子の割合を現状の56%以上にする。
- ・スポーツ交流会や各体験活動への参加率35%をめざす。